

令和2年10月22日

▼タイトル

～大阪の企業人が高島の地域課題解決策を検討します～

「社会課題解決ビジネススクール」高島フィールドワーク研修

▼概要

公益財団法人関西生産性本部（大阪市、会長：大坪 清 氏）が今年度初めて行う「社会課題解決ビジネススクール」の研修対象地に高島市が選ばれています。

この研修は、社会課題解決とビジネスの両立を目指すCSV（Creating Shared Value）の考え方と事業計画の策定方法について企業人が実践的に学ぶ研修で、高島市では「関係人口の開拓や都市と農村の交流促進」といったテーマの選出や、テーマに関する基礎情報の提供といった点でその運営に協力をしています。

今回、この研修の一環で研修生によるフィールドワーク（高島市内現地調査）が行われますので、その行程の一部を下記のとおり記者公開します。

※取材を希望される場合、前日までに（高島市総合戦略課）にお電話をお願いします。

▼日時

令和2年10月27日（火）午前10時00分～（1時間程度）

▼現地調査公開場所

場 所：鵜川の棚田周辺

調査内容：棚田オーナー制度等 都市住民との交流、耕作放棄地課題等

集合場所（駐車）：うかわファームマート（高島市鵜川817-1）

▼研修参加者

研修生：自動車製造業（2人）、農業機械製造業（1人）、エネルギー関連業（1人）

コーディネーター：神戸大学大学院経営学研究科教授 栗木 契 氏

研修運営・主催：公益財団法人 関西生産性本部

現地案内等：高島市役所 政策部 総合戦略課、農林水産部 農村整備課

【参考1】公益財団法人 関西生産性本部について

1956年設立、基金2億円。大阪、兵庫、京都、滋賀、奈良、和歌山、福井を活動範囲とし、企業や労働組合、大学等600を超える賛助会員により構成。

あらゆる組織の生産性向上の支援・交流機関として関西をリードすることを目的に、経営に関する調査研究や人材育成をはじめとする研修を年間100本程度提供している。

【参考2】当日のフィールドワーク先（予定）について

鵜川の棚田 → 泰山寺（昼食）→ マキノ高原 → メタセコイア並木・ピックランド→ 湖周道路（ビワイチルート）→ 白浜荘

▼問い合わせ先

【フィールドワーク当日の取材について】

- 担 当：高島市役所 政策部 総合戦略課（担当：湊田・戸田）
- 電 話：0740（25）8114

【関西生産性本部や研修の趣旨について】

- 担 当：公益財団法人 関西生産性本部（担当：松村・猿渡・七野）
- 電 話：06（6444）6464